

平成30年度日本の蔵王 day ごおうさま cup 女子ソフトボール大会
平成30年度北海道・東北地区大学女子ソフトボール秋季大会
開催要項

- 1 主 催 蔵王町、蔵王町教育委員会、北海道・東北地区大学ソフトボール連盟
- 2 主 管 蔵王町ソフトホール協会
- 3 協 力 東北福祉大学ソフトボール部
宮城教育大学女子ソフトボール部
仙台大学女子ソフトボール部
- 4 期 日 平成30年10月20日（土）・21日（日）
- 5 開会式 平成30年10月20日（土）午前9時
- 6 会 場 蔵王町総合運動公園多目的グラウンド
- 7 参加資格
 - (1) 今年度本連盟に加盟している大学の学生（新しい選手の追加登録は必要ありません）、及び、次年度本連盟に加盟予定の大学の学生であること。
 - (2) 学長（学部長又は学生部長）が、人物、身体ともに適当と認めた者であること。
 - (3) 部員数が多く、2チーム編成できる大学は、AとBのチームに分けて参加することを認めます。不明な点は、理事長の大塚まで問い合わせして下さい。
- 8 出場資格
 - (1) チーム編成は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー1名、選手30名以内とする。ただし、監督、コーチが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならぬ。当該試合ごとにベンチ入りができるのは、部長、監督、コーチ、トレーナー、選手25名以内とする。
 - (2) 選手の背番号は、春の登録時と変更してもかまわないが、本大会の参加申込用紙に記入された背番号を大会終了まで継続すること。
 - (3) スコアラーとしてベンチ入りする者は、公式記録員の資格を有すること。
 - (4) チーム内に、次の①～③の資格を有する者がいること。
 - ①公認コーチ・上級コーチ ②公認スポーツ指導員・上級指導員 ③準指導員
 - ④平成30年度対象講習会受講者
- 8 競技規則

2018年度オフィシャル・ソフトボールルールによる。ただし、5回7点差以上の差が生じた場合は、得点差によるコールドゲームを採用する。また、90分を超えた場合は、次のイニングには入らず、その時点で同点の場合はそこからタイブレーカーを採用する。

ただし、このルールは、1部リーグと優勝決定戦には採用しない。
- 9 試合方法
 - (1) 原則リーグ戦方式とするが、参加チーム数に応じて、主催者側（会長・理事長）の判断により、例年のような変則的な方式を採用する。変則リーグを採用する場合は、各チームとも複数の試合が可能になるよう配慮する。

- (2) リーグ戦等の組み合わせについては、主催者（会長・理事長）の責任のもと決定する。
- (3) サスペンデットゲームを採用する。

10 試合球

- (1) 試合球は、（財）日本ソフトボール協会検定革3号球（イエロー）とし、ナガセケンコー株式会社製とする。
- (2) 各チームは、試合ごとに試合球を2個、メンバー表提出時に当該試合の審判に提出すること（なお、この方式は大学の春季・秋季リーグのみの措置であることに留意すること。なお、これ以外の大会では主催者が用意しています）。

11 申し込み

本大会の参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添え10月12日（金）までに下記あてに、現金書留にて申し込むこと。

申込先 〒020-0694

岩手県滝沢市砂込808

盛岡大学短期大学部内

北海道・東北地区大学ソフトボール連盟 会長 大塚健樹

電話番号 019-688-5570

FAX番号 019-688-5568

携帯番号 090-6220-1908

- 12 参加料 30,000円（AとBの2チーム編成でも、それぞれのチームともこの額とする）

13 費用

参加チームの旅費その他諸経費は、すべてそのチームの負担とする。

14 傷害処置

選手の傷害については、主催者は一切の責任を負わない。

15 その他

- (1) 不明な点は、上記会長（大塚）に問い合わせること。
- (2) 開会式・閉会式は行わない。
- (3) グランドの整備・ファールボールへの対処は、試合中のチーム及び待機中のチームが協力して行うこと。
- (4) 雨天の場合は、主催者が朝7時までに判断し各チームに連絡する。また、予備日等が用意できないため、できる限り試合を行う方向で調整するが、延期はしない。
- (5) 本大会は、上位の大会がないことから比較的ゆるやかな規制で運営するので、選手登録、指導者資格等の件で迷うところがある場合は、会長に相談すること。